
新潟青陵大学
3年次編入学
入学試験問題集

2026

※解答例は掲載していませんのでご了承ください。

出題の意図

小論文問題は「テーマ提示型」とし、対人援助に関する 3 題のテーマを設け、そのうち 1 題を受験生が選択して 1000 字程度で解答するものでした。編入学後に本学で学んでいくために必要となる知識・能力や自分の意見を筋道立てて表現する力（アドミッション・ポリシーに掲げる本学が求める学生像に対応する「学力の 3 要素」の中でも特に、「思考力・判断力・表現力」に位置づけられる）を評価することを意図して出題しました。各テーマにおける出題の意図は以下の通りです。

第 1 のテーマは、現実の社会問題を把握し、賃上げや減税、現金給付など各解決策のメリットとデメリットをみきわめつつ、問題解決に向けた意見を受験生に求める問題でした。

第 2 のテーマは、2026 年度は人口減が喫緊の社会問題であり、多文化地域共生社会の到来が避けられない現実となっている中で、心理職に求められる資質について問うことにより、受験生自身の問題意識や入学後の学習目標を明確にすること、意見を論理的に説明・展開することを求める問題としました。

第 3 のテーマは、「遊び」と「主体的な学び」との関係について、受験生が自身の理解や知識に基づいて論理的に意見を展開する力を問うものでした。あわせて、幼児の発達段階や保育現場の実情に目を向けた実践的な視点や、自らの保育観・教育観に基づいた考察を求める問題としました。

2026 年度
新潟青陵大学 福祉心理子ども学部
編入学試験 1 次募集
小論文試験問題

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 1 ページです。
- 3 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 4 試験時間は 90 分です。
- 5 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 6 解答用紙に受験番号を記入してください。
- 7 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。

問題

以下の1.～3.の中から1題選択し、1000字程度でまとめなさい。

1.

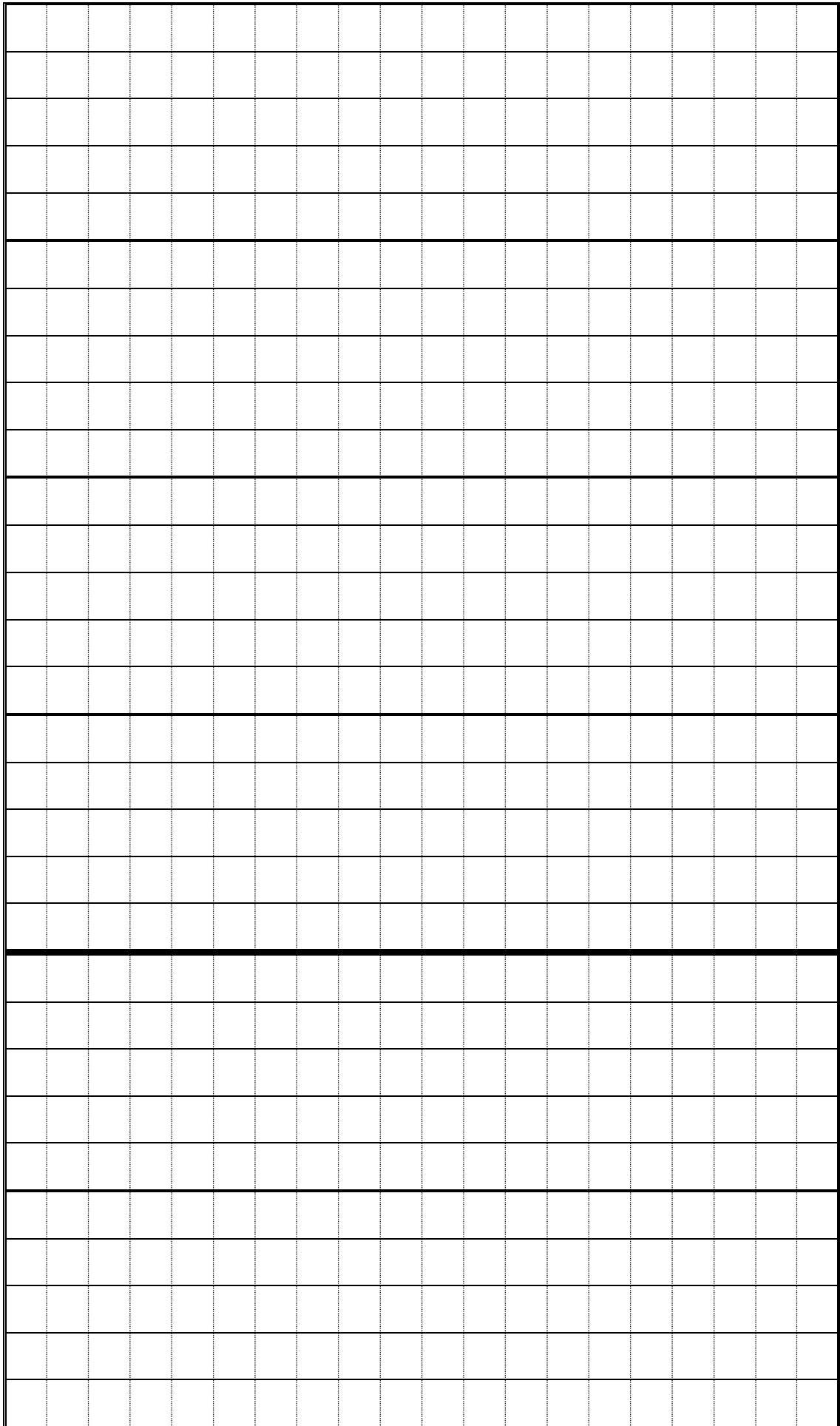
日本では、共働き世帯の約半数が「家計が苦しい」と答えている。生活困窮問題への対策としては、最後のセーフティーネットとしての生活保護制度などの公的制度がある。一方で、日本の最低賃金は他の先進諸国に比べて低く、抜本的な施策対策が望まれる。労働と賃金、福祉と税金などを関連づけて考え、生活困窮問題の解決策について、自分の意見を述べよ。

2.

深刻な少子高齢化を背景に、我が国で就労し生活する外国人は年々増加している。彼らは単なる労働力ではなく、地域社会の隣人であり構成員である。その一方で差別や偏見など様々な課題も顕在化している。このような状況の中で多文化地域共生社会における心理職に必要な資質について、自分の意見を述べよ。

3.

幼児教育において「遊び」は主体性を育む教育の一環として位置づけられている。あなたは、幼児にとって「主体的な学び」と「遊び」はどのように関係していると考えるか。その意義について述べた上で、保育や教育の中でいかにして支えていくべきか、具体例を交えて自分の意見を述べよ。



600

700

800

900

1000

1100